

中学校区におけるめざす子ども像
「人から信頼され、何事も徹底してやりぬくたくましい子」

令和6年度 重点目標
「人とつながる機会の充実と学力の向上をめざし、安心感のある学校づくり」
○つながり 学級活動・各行事等で、生徒同士そして先生と生徒がつながっている学校づくり。
○学力向上 自ら学ぼうとする姿勢を育成する。(学ぶ楽しさを追求する)
○集団づくり 学級活動・部活動など様々な活動を通じた集団づくり。
○環境整備 先生も生徒も清掃活動を大切にする。

確かな学びの現状
・授業に集中している生徒は年々増加しており、静謐な授業環境が形成されつつある。
・漢字、計算、英単語等、各教科で小テストを頻繁に実施しており、基礎基本的な学習内容の定着を図っている。
・各種テストの結果では「読む能力」、「書く能力」を中心とした読解問題、文章問題の正答率が低いため、学校での朝読書や家庭での読書習慣を定着させていきたい。
・問題形式では記述式問題を苦手とする生徒が多いため、日頃から自分の考えを表現させる課題をグループワークや生徒用タブレットを活用し提示する。
・テレビゲームやスマホの広がりにより、コミュニケーション力が低下しており、SNS上での生徒間トラブル等が見られる。

豊かな心・健やかな体の現状
・本校生徒は体育大会、合唱コンクールなどの学校行事はもちろんのこと、地域の祭礼など、行事全般に対して、お互いに協力して真剣に取り組む姿勢が顕著である。
・生徒間のつながりを醸成するため、生徒会が中心となり、校内放送や生徒参加型イベントを企画、実施している。
・各部活動とも活動が盛んで、部活動を通して、豊かな心・健やかな体を育てている。
・遅刻、欠席が常習化している生徒に対しては、家庭連絡を密にするとともに、早寝早起き、朝食摂取の奨励など基本的な生活習慣の改善を促している。
・人間関係や不登校等の課題を抱えている生徒に対してはスクールカウンセラーと連携し、課題の解決に努めている。また、教室に入りづらい生徒に対しては、無理のないペースで個別に学習に取り組めるように別室を設ける等、学校全体で不登校生徒へのきめ細かい支援に努めている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)		
								学校教育アンケート での肯定的割合(%)	自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	わかる授業づくりを行う	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎基本的な学習内容を定着させる。 ●自分なりのまとめや考えを書いたり、発表したりする機会を設けることで、主体的に学ぶ習慣と態度を育成する。 ●生徒が授業に興味、意欲が持てる授業づくり。 ★少人数授業の実施による、きめ細やかな指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は教え方にいろいろな工夫をしているか。 ・定期テストやチャレンジテストの点数。 	学校教育アンケート	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ○小テストを実施し、基礎学力の定着を図っている。(国語・数学・英語) ・少人数授業を実施し、生徒の学習状況に応じた課題の提示と指導を行っている。(数学・英語) ・大半の生徒は授業に前向きに取り組んでいるが、一部に授業に集中できていない生徒も散見される。 			
		学ぶ習慣作りに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ●授業において自らの考えを発表し、表現する「言語活動の充実」を進めるとともに、「読む力」の向上に取り組む。 ●朝学習の実施。(3年) ★朝の読書活動の実施。(1, 2年) ●自らが家庭学習を進められる課題を提示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習や読書の習慣が定着しているか。 ・自分から家庭学習をしているか。 ・基礎基本の宿題の提示。 			<ul style="list-style-type: none"> ○授業のまとめを共有することで、主体的な学ぶ習慣と学びの共有を目指している。(理科・音楽) ・5教科において、振り返りの時間を設定している。 ・各教科において週1回を目安に基礎基本の宿題を提示しているが、提出しない生徒も見られる。 ・タブレットを持って帰らせて、調べ学習や発表の準備をさせている。(社会・国語・美術) 			
豊かな心・健やかな体	生徒指導体制の充実・健康指導	予防と育成の生徒指導体制を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いた環境作りと、静謐な教育環境の確立。 ★チャイム着席運動の実施。 ●生徒指導において、生徒が相談しやすい状況を作る。 ★中学校の校則等について、校区内の小学校の児童と保護者に周知する。 ●いじめ・暴力行為などの問題行動に対する対応。 ★スマートフォンの使用について外部講師による講演や「まもるんやさかい」等を活用した取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年でチャイム着席の取り組みを進める。 ・福泉中学校の教員は悩みや相談に親身になって応じているか。 ・リソースルーム等のきめ細やかな指導体制。 ・いじめアンケートを年3回実施する。 ・福泉中学校の教員はいじめや暴力などについてよく対応しているか。 	学校教育アンケート	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年ともテスト前を中心にチャイム着席運動を実施。 ・毎学期、いじめアンケートを実施。必要に応じて、聞き取りや指導を実施。 ・リソースルームに通う生徒には、スクールカウンセラー等と連携して、見守り体制を構築している。 			
		健康に生きるための学習機会を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会活動や各クラブ活動など、生徒の自主的な活動を支援する。 ●飲酒喫煙、薬物乱用、性教育等について、専門家を招いて、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動・生徒会や学級活動に積極的に取り組んでいるか。 ・1年: 歯科保健指導、性教育教室。 ・2年: 飲酒喫煙防止、性教育教室。 ・3年: 薬物乱用防止、性教育教室。 			<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会主催で全学年参加型イベントを実施。 ・小中部活動交流会を実施。 ・各学年で健康教育、性教育を実施。 			
		ICT教育	生徒用タブレットの活用	<ul style="list-style-type: none"> ●タブレットを積極的に使用し、視覚に訴えた教材を用いることで、魅力的な授業をめざす。 ●タブレットを活用した調べ学習や発表を行い、思考力・表現力・ICTスキルを育成する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを利用した授業頻度。 ・タブレットを利用した課題の提示や学びの共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ○パワーポイントで制作の説明や動画で授業に変化を与えている。 ・小テストをタブレットで実施。(国語) ・授業のまとめ、振り返り、課題等をタブレットに入力し、生徒間で共有。(理科・社会・道徳) ・フォーム等の動作を撮影し、改善点を視覚的に捉える。(保健体育) 		
情報発信	ホームページ等で学校の授業や行事の様子を積極的に発信する	<ul style="list-style-type: none"> ●学校だよりやホームページ等を通して、授業や部活動等の様子を積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのアクセス数。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々、授業や部活動の様子をHPに掲載。 ・保護者への連絡はtetoruを活用。 						

校長より(年度末) _____ 学校関係者評価者から(年度末) _____